

高松市立香南小学校 体力向上プラン

【学校教育目標】

自分や人やふるさと香南を愛する子どもを育てる

【本校の課題】

- 男女とも、多くの学年でボール投げ、長座体前屈以外の値が低く、県・全国平均を下回っている。
- 男女とも1年生以外の学年において、総合得点で県・全国平均の値を下回っている。
- 5、6年生の男女で25m以上泳げない児童が約3割いる。
- 昨年度、体育委員会がボールを使わない走力アップの運動遊びなどの紹介をした。一部の児童は取り組む姿が見られたが、まだまだボール遊びをしている児童が多かった。

【現状】

休み時間等には元気よく運動場で遊んでいる姿が見られる。しかし、一部の児童は図書室や教室で過ごすことも多く、運動場で十分な時間遊ぶことができていない。特に女子に多い。また、中・高学年になると、多くの子どもたちがボールを使った遊びが中心で、遊具などで遊ぶ姿はほとんどない。

昨年の秋には陸上クラブの体力づくり運動を高学年以外の体育の時間にも積極的に取り入れた。

朝のチャレンジタイムの内容を充実させるとともに、体育の授業の導入時を利用して体力づくりの運動を補充することにした。

【取組み】

ボール以外の運動遊びの紹介

ボールを使わずにできる運動遊びを体育委員会が紹介していく。走力や持久力が上がり、楽しんでできるような内容にすることで、下学年と上学年がともに取り組んでいけるようにする。

なわとび大会の新種目

2月になわとび大会を学年ごとに実施している。この時期は高学年の女子も熱心になわとび練習に取り組んでいる。歴代の記録を紹介し、記録更新を目標として練習に励んでいけるようにする。



水泳・陸上クラブの充実

6月から夏休みをはさんで10月まで放課後の水泳・陸上クラブを5・6年生の全員参加で行っている。今後さらに成果を上げるために、児童それぞれに明確な目標をもたせていく。



プチ現教での運動遊びの紹介

プチ現教で体育の授業や朝の時間に簡単に行えて、体力向上につながる運動遊びを体育部会から主に若年教員にむけて紹介していく。繰り返し行っていくことで児童の体力向上につなげていく。



【目標】

- H30年度には50m以上泳げる5、6年生を9割にする。
- 休み時間には異学年の友達を誘い合い、元気に運動場で遊ぶことを楽しむ児童を増やす。
- H30年度には新スポーツテストの結果が半数の児童は県平均を超えるようにする。